

B&G

**北海道ブロック連協
交流会議**

2020年9月25日

B&G財団

目次

・五か年計画と三か年計画 概要	・・・1
【2020年度事業】	
・偉人マンガの製作と活用事業（追加募集）	・・・2
・PR大賞（募集）	・・・3
・利用者発信SNS「わがまち応援団」（募集）	・・・4
・オンライン砂ASO 開催（ご案内）	・・・5
・学生ボランティア養成事業（追加募集）	・・・6
・プールカヌー タイムトライアル（募集）	・・・7
・第17回B&G全国教育長会議（ご案内）	・・・8
・第13回B&G全国サミット（ご案内）	・・・9
・B&G巡回写真展「スポーツのチカラ」（周知）	・・・10
【2021年度事業】	
・B&G指導員養成研修	・・・11
・水辺の安全教室	・・・12
・バリアフリー化と器材配備事業	・・・13
・修繕助成制度	・・・14
・活動器材・追加再配備制度	・・・15
・新規海洋クラブ募集	・・・16
・海洋ごみ削減に向けた全国一斉清掃活動	・・・17
・学習と体験による子育て支援事業「BG塾」	・・・18
・体験格差解消を目指す水辺の自然体験の推進	・・・19
・自治体職員派遣研修制度	・・・20
※2021年度事業につきましては、日本財団への申請を予定しておりますので、 詳細は2021年度のブロック総会にてお知らせいたします。	
・施設別利用者人数・人口比率	・・・21
ランキング ベスト5	

● 青少年の健全育成推進計画について（2015～2019年度）

B&G財団では、日々変化する現代社会において“子供たちの心身を鍛え、これからの時代を生き抜く力の育成”が肝要とし、「青少年の健全育成推進5か年計画」を2015年に策定。海洋センター・海洋クラブ、自治体、B&G指導者の賛同・協力のもと、新たな事業に取り組んできた。

Vision	Mission
1. 生きる力を育む	①「自然」と「命」を実感する
2. 体験格差を解消する	②「可能性」と「機会」を全ての人に
3. 地域のつながりを活性化する	③挑戦する気持ちを応援したい
4. 「自然」と「命」を実感する	④海洋国「日本」を知る
	⑤これまでもこれからも地域に寄り添う
	⑥「スポーツ施設」が「交流の場」に変わる
	⑦地域を担う人づくり
	⑧活動への理解を深め支援の輪を広げる

● 数値目標と達成状況

項目	目標	達成状況
海洋センター利用者	1,250万人	1,081万人
海洋レクリエーション体験者	100万人	104万人
地域指導者会の設置	100%	100%を達成（全国400カ所）
全国の水辺の安全教室の実施	600校 10万人	1,012校 175,395人
都内の水辺の安全教室の実施	50校 4,000人	61校 12,197人
2020東京オリパラ出場者	20人	オリパラ延期のため未集計

● 計画推進による主な効果

- ①「スポーツ振興の場から誰もが集える海洋センターへ」
- ②「困難な環境にある子供たちの自然体験格差の解消」
- ③「地域の課題や要望に応える人材の育成と活用」

● 地域力の活用計画について（2020～2022年度）

【概念図】



事業概要

ふるさと(自治体)ゆかりの偉人に関するマンガを、**地域の皆さんの協働で製作し**、地元の小中学生への配布・活用を行う事業です。**ふるさとへの興味関心の向上(郷土教育)**や**将来の生き方や生活を考えるきっかけ(キャリア教育)**に寄与することを目的としています。

実施内容

2021年度

自治体ゆかりの偉人に関する
マンガの製作と発行

上限300万円を支援します!



2022年度～

マンガを活用した事業展開

(例) 学校授業への導入、
図書館への配架などの活用



助成要件

以下の要件を**いずれも満たす**ことが必要です

- ・「製作およびマンガ活用検討委員会」(仮称)等の組織の立ち上げを行うこと
⇒生涯学習センターや文化財保護委員会等、既存の組織と連携した併用開催も可!
- ・マンガの製作後、配布のみで終わらずに事業展開を行うこと
- ・配布対象者数が1,000人以上であること
- ・助成が決定した場合、期間内にマンガを製作できること(2021年度内)
- ・自治体内あるいは道府県内ゆかりの漫画家が執筆すること⇒プロアマ問わず、学生も可

青文字は実施の
ポイント♪



その他

- 既にご申請いただいている自治体の、マンガの活用計画例

市内小中学校

総合学習の時間に
マンガを用いた授業を
実施

図書館

マンガの読み聞かせ
会と関連書籍の特集
コーナーの設置

記念館・博物館

学芸員による解説と
偉人ゆかりの史跡を
めぐるツアー開催

その他

町民体育会の「〇×ク
イズ」においてマンガ
の内容を出題

- 助成対象数:2021年度 **30カ所**

- 申請期間:**2020年12月17日(木)メ切**

郵送、コンパスメッセージまたはメールにて、B&G財団企画課まで申請書のご提出をお願いします。



ふるさとの協働で後世に残したい
人をマンガにし、子供達に夢や
希望を与えましょう!

お問合せ先
B&G財団 企画部 企画課
担当:大久保・桐ヶ谷・竹谷
TEL:03-6402-5311
コンパス送付先:企画課

事業概要

海洋センター・クラブのPR活動コンテスト「PR大賞」。2020年度は、次の3部門で開催します。

- まちレポの部 まちレポ (Facebook) 投稿記事のコンテスト
- おもてなしの部 施設の装飾や利用満足度向上策のコンテスト
- やらかし川柳の部 失敗体験を詠んだ「やらかし川柳」のコンテスト

目的

海洋センター・クラブが、地域や海洋センター・クラブの魅力を発信し、その魅力を高めるコンテストです。

実施内容

※PR大賞応募は、「海洋センター評価」の加点項目です。

1. まちレポの部: 募集期間 **11月末まで**

最優秀賞 (3万円相当)、優秀賞 (1万円相当)
各ブロックのFB「まちレポ」に海洋センター・クラブの活動を投稿。

2. おもてなしの部: 募集期間 **11月末まで**

最優秀賞 (5万円相当)、優秀賞 (2万円相当)
スタッフや利用者による施設の装飾や施設運営の工夫などを募集。

3. やらかし川柳の部: 募集期間 **12月末まで**

最優秀賞 (10万円相当)、毎月 (Tシャツ)
テーマにちなんだ失敗体験を詠んだ「やらかし川柳」を広く応募します。

テーマ	募集期間
グルメ	8月4日(火)～9月30日(水)
お金	10月2日(金)～12月31日(木)



「まちレポ」の投稿方法

「まちレポ」登録は、簡単 2ステップ。

●ステップ1: 自ブロックの「まちレポ」に いいね!



いいね! をクリック

●ステップ2: 「センター・クラブ名とアカウント」の連絡

B&G財団広報課に「センター・クラブ名とアカウント」をメールや電話などで連絡してください。

B&G財団の登録作業完了後、スマホやPCから投稿できます。

お問合せ先

B&G財団 企画部 広報課 担当: 清水、岡田、中村

TEL: 03-6402-5312

コンパスメッセージ送付先: 広報課

B&G 利用者発信SNS「わがまち応援団」募集

事業概要

これまでの「B&G財団、海洋センター・クラブ指導者」に加え、新たに「海洋センター利用者・協力者」からも発信できるSNSを開設しました。馴染みの利用者・事業参加者などへの周知と勧誘をお願いします。

- わがまち応援団フェイスブック <https://www.facebook.com/55bgtown>
- BG応援団Instagram <https://www.instagram.com/furefurebg>
- BG応援団ツイッター <https://twitter.com/furefurebg>

目的

海洋センター・クラブの活動とその魅力を、利用者の目線から発信いただく制度です。

実施内容

1. わがまち応援団 フェイスブック

地域おこし協力隊、NPO、活動グループ、学生など「わがまちの活性化に取り組む人材」を海洋センター・クラブの推薦により投稿者に登録。町の話題と海洋センター・クラブの活動を発信する。

2. BG応援団 Instagram、ツイッター

海洋センター利用者、事業参加者など「海洋センター・クラブに魅力を感じた方」が、自由に「#BG応援団」をつけて投稿。海洋センター・クラブの活動を発信する。

■わがまち応援団 (Facebook)



■B&G応援団 (Twitter、Instagram)



お問合せ先
B&G財団 企画部 広報課 担当：清水、岡田、中村
TEL：03-6402-5312
コンパスメッセージ送付先：広報課

事業概要

今年、コロナウイルス感染症の影響で、全国16カ所で開催予定であった「砂ASOBeach」は、全て中止になってしまいました。それでも海や砂浜で遊びたい人たちは沢山います。B&G財団では、コロナウイルス感染症が落ち着いた時に海や砂浜で体験したくなるような「オンライン砂ASOBeach」を開催します。

目的

オンラインを活用し、砂ASOBeachを疑似体験してもらうことで、次年度への実体験参加に繋げる。3密を避けるプログラムで、楽しく海に親しみ「海の日」と「海の安全」への理解を深める機会を提供する。

実施内容

- 実施日：10月18日(日) オンライン
- 参加費：無料
- プログラム …各プログラム30分から40分の予定

	時間	プログラム
1	9:55~10:00	概要説明
2	10:00~10:30	ヨガ
3	11:00~11:30	フレスコボール
4	13:00~13:30	オリジナルライフジャケット作り
5	14:00~14:30	オリジナルビーチサンダル作り
6	15:00~15:30	海のクイズ王
7	15:30~15:45	BG水辺の紹介

- 申し込み方法
B&G財団ホームページから申し込み
- ホームページ掲載
9月28日よりB&G財団ホームページにて公開
詳しくは、ホームページをご確認ください。
- オンライン
ZOOMを使用

●講師紹介



ヨガ

酒井孝子氏

(ヨガインストラクター、日本サップヨガ協会事務局長)



フレスコボール

窪島剣璽氏

(一般社団法人日本フレスコボール協会 / 代表理事)

ミニ砂ASOBeachを全国6か所で開催中

全国16カ所で計画をしていました「砂ASOBeach」は、コロナウイルス感染症の影響で全て中止となりましたが、イベント規模を縮小して、急遽「ミニ砂ASOBeach」として、全国6カ所で開催します。プログラムは3密を避けるために、フレスコボール体験やキャスティング体験、サンドアート、マリンスポーツ体験のプログラムなどで実施します。お近くの会場で実施の際には、ぜひお立ち寄りください。

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 9/12 北海道女満別・東藻琴クラブ | 10/4 香川県池田・オリブ アイランド クラブ |
| 9/20 富山県富山クラブ | 10/24 三重県かわげクラブ |
| 10/3 鹿児島県錦江湾クラブ | 11/8 鹿児島県アマニコクラブ |

詳しくは、各クラブにお問い合わせください。

お問合せ先
B&G財団 事業部 事業課 担当：宮寄・進藤・稲
TEL:03-6402-5313
コンパス送付先：事業課

温水プール
も使えます

事業概要・目的

海洋センター、海洋クラブ、地域指導者会に、もっと“人のにぎわい”を増やしましょう！

子供たちの教育に効果が高いと言われる「水辺の自然体験」ですが、その実施や安全管理には多くの人手が必要です。活動体制の強化のため、「B&G指導員」による互助組織「地域指導者会」が全国100%の海洋センターで設置されていますが、海洋センター運営者・指導員の業務が多様化・多忙化する中で、補助スタッフの必要性が今後ますます高まってくると考えられます。

そこで、地域の学生・高校生に対して海洋性レクリエーション技能や安全管理知識を提供し、より子供たちに近い目線で補助を行う「ボランティア指導員」として協力いただくため、従来からの「B&Gリーダー研修」の対象者を特に学生（大学生・専門学校生・高校生）とし、3カ年の期間で、実施の促進とあわせて開催経費の支援を行っています。ぜひこの機会に、にぎわい・マンパワーの拡充を目指して本事業をご活用ください！

実施内容

- ・募集期間：2021年2月末日まで（2020年度内実施）
- ・募集箇所数：10か所程度
- ・対象：海洋センター・海洋クラブの活動に事後の参加ができる
大学生、短大生、専門学校生、高校生など 3人以上
- ・内容：2020年度下期は、温水プール等を使った海洋性レクリエーション（SUPやカヌー等）の体験会を実施のうえ、その後、自治体や海洋センター・クラブが実施する生涯学習関連事業（例：駅伝・運動会・各種教室等）への、学生の参加を推進してください。
- ・その他：「体験会+ボランティア参加」により、「B&Gリーダー資格」に認定のうえ「B&G指導員証」を交付します。



財団からのご支援

- ①開催経費補助：上限75,000円
 - ・スタッフ向け：昼食・飲み物代、交通費
 - ・参加者向け：飲み物代、傷害保険料
 - ・その他：安全・研修器材購入費（スローバッグ、ロープ等）
救助艇燃料代、送迎車代、寝袋レンタル代
B&G以外の温水プール施設賃借料など
- ②現物支給：Tシャツ、キャップ、カラーテキスト
- ③器材貸与：SUP（スタンドアップパドルボード）器材、CPRトレーニング用人形
※事後活動のためのSUP長期貸出にも対応可能です（要相談）



お問合せ先
B&G財団 事業部 事業課 担当：持田・二階堂・稲
TEL：03-6402-5313
コンパス送付先：事業課

事業概要

全国の海洋センターのプールを活用して、誰でも参加できる共通のルールに基づいた「カヌーレース」を開催し、カヌーに乗船する機会を増やすことで、海洋センターの利用者数の増加に繋げる事業です。

目的

海洋センター利用者の方々に、定期的にかヌーに乗船する機会を増やすことで、日頃から海洋性レクリエーションに親しむ機会を提供する

実施内容

部門

- (1) 小学生の部
- (2) 中学生の部 (男性・女性)
- (3) 高校生の部 (男性・女性)
- (4) 一般の部 ※18歳以上 (男性・女性)

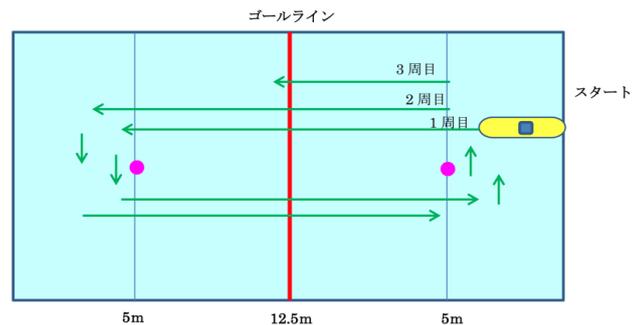
全7部門

ルール

タイムレース:個人

カヌーのスターンを壁に付けてスタンバイ。(補助者がおさえる)

スターターの合図でスタートし、2点ブイを左回りに2周回って、3周目の12.5mラインを漕者の胸が達した時点でのタイムを競う



ぜひご参加ください!!



ランキング中間報告(9月12日現在)

参加センター数:10センター

参加人数:80人

小学生:51人

中学生男子:4人

中学生女子:4人

高校生男子:1人

高校生女子:1人

一般男子:15人

一般女子:4人



ランキング詳細はB&G財団ホームページからご確認いただけます。

※2019年度実績 24センター・1クラブ 205名



お問い合わせ先
B&G財団 事業部 事業課 担当:宮寄
TEL:03-6402-5313
コンパス送付先:事業課

事業概要

「B&G全国教育長会議」は、海洋センター所在自治体の教育長様を対象に毎年実施しているもので、教育行政の陣頭指揮を執られる教育長の皆様からの意見や要望を伺い、青少年の健全育成の更なる推進とより良い財団事業の構築を目指すとともに、当財団や海洋センター等への理解を深めていただき、相互の連携強化を図ることを目的としています。

会議では、教育行政における今日的課題をテーマに掲げ、専門家による基調講演や先進的な取組みを行っている自治体等からの事例発表、文部科学省からの説明、財団からの事業紹介などを行っており、例年参加する教育長が増加している、関心・参加者満足度の高い会議です。

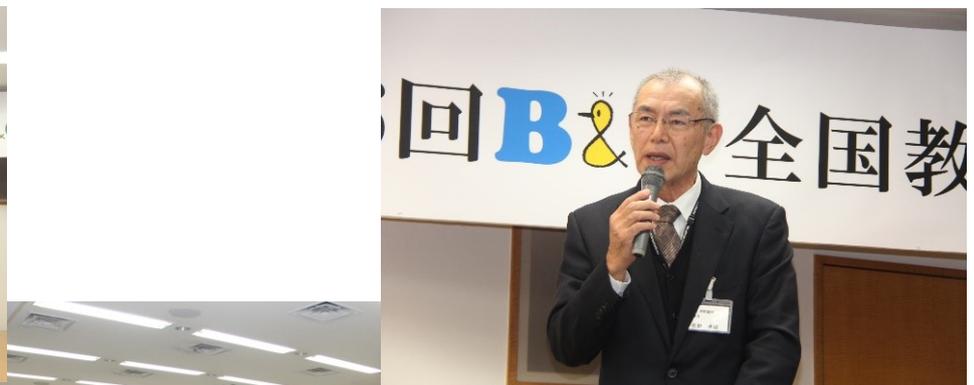
目的

- ・教育長からの意見・要望を聴取、より良い財団事業の構築
- ・財団や海洋センターへの理解促進、相互の連携強化

実施内容

**新型コロナ禍でも、教育長様から多数の開催要望があったことから、感染予防対策を講じた上で、
コロナ禍で各自治体が直面した課題や今後の対策等について情報共有・意見交換する場として開催いたします。**

- ◆対象：参加を希望するB&G所在自治体の教育長
- ◆時期：2020年11月5日(木) 13:00~17:30
- ◆場所：笹川記念会館(東京都港区三田)
- ◆テーマ：「ポスト・コロナ期の教育を考える ~オンライン時代に良質な実体験を~」
- ◆内容：基調講演、先進事例発表、海洋センターの取り組み(事例発表)、文部科学省の取り組みなど



事業概要

「B&G全国サミット」は、各地の海洋センターでの事業事例や海洋センターの新たな活用方法等の情報を共有し、財団と自治体、また自治体同士の連携を強化することを目的とした海洋センター所在市町村の首長・教育長等を対象に開催している財団最重要会議です。

会議では、日本財団 笹川会長による特別基調講演をはじめ、首長による事例発表、海洋センター評価の表彰などを実施しています。

今年度は、**会場の入場制限を図るなど、新型コロナウイルス感染予防対策を実施したうえで開催する予定です。**詳細につきましては、10月中に改めてご連絡いたします。

目的

- ・地域活性化
- ・自治体・財団の情報共有および連携強化

実施内容

- ◆対象：全海洋センター所在地 市町村長および教育長
- ◆時期：2021年1月22日(金)
- ◆時間(予定)：会議 14:00~17:00
レセプション 17:00~18:00 ※実施検討中
- ◆場所：笹川記念会館(東京都港区三田)
- ◆内容(案)：基調講演(日本財団 笹川会長)、
海洋センターの取り組み(事例発表)、優良センター表彰 他

【第12回サミット出席者】

首長 248人
副首長 42人
教育長 203人
代理等 280人
来賓他 75人
計848人



その他

・物産品展示ブース

※実施検討中 対象自治体に改めてご連絡いたします。

昨年は、会場のロビーに、10年連続「特A」評価を受けた自治体の物産コーナーを設け、地元の品々をPRしました。

・レセプション ※実施検討中 開催通知にてお知らせします

昨年は、会議終了後、場所を移してレセプションを開催し、会議出席の皆様同士、地域間交流を通じて海洋センター所在自治体同士の連携を深めました。



お問合せ先
B&G財団 事業部 海洋センター・クラブ課 担当：鈴木・栗原
TEL:03-6402-5314
コンパス送付先：海洋センター・クラブ担当

事業概要

オリンピック・パラリンピアンの写真パネル等59点を展示する写真展と障害者スポーツへの理解を深める体験会を海洋センターから海洋センターへ、聖火リレーのようにつないで巡回させる事業です。

今年度上期は全国9カ所のB&G海洋センターで実施し、**新たに下期実施の14カ所が決定いたしました。**

本事業は2018年度より実施しており、今年度で三回目の実施です。東京2020オリンピック・パラリンピックが一年延期になりましたが、新型コロナウイルスに負けずに来年に向けて盛り上げていきましょう！

目的

- ・地方からの東京2020の機運醸成
- ・幅広いスポーツやパラスポーツへの興味・関心向上
- ・海洋センター遊休スペースの利活用
- ・新たな利用者層の発掘、スポーツ以外の利活用促進、利用者人数増加
- ・B&Gアスリートへのサポート、B&Gコミュニティとして応援する素地づくり

実施内容

- ・時期：2020年4月～2021年3月
- ・規模：全国28カ所
- ・場所：B&G海洋センター（体育館、ミーティングルーム、温水プールフリースペース等）
- ・対象：一般市民、海洋センター利用者
- ・展示物品：①日本人オリンピック・パラリンピアン写真パネル（59点）
②B&Gアスリート紹介パネル
③パラリンピック啓発映像 ほか
- ・後援：共同通信社（写真提供、広報支援）
- ・同時開催事業：パラスポーツ体験会ほか
- ・支援内容：展示物品貸出、送料負担
- ・その他：東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会主催
「東京2020応援プログラム」（スポーツ・健康）認証済

下期開催決定！



実施地一覧

2020年度上期は、新型コロナウイルスの影響で5センターで開催中止を余儀なくされましたが、東京2020の延期に伴い、開催期間を延長し、新たに14センターでの実施が決定しました。



上期実施センター			下期実施センター決定！！		
1	熊本県	玉名市岱明	15	千葉県	いすみ市
2	宮城県	加美町中新田(中止)	16	岡山県	矢掛町
3	徳島県	阿南市那賀川(中止)	17	長野県	白馬村
4	福岡県	みやこ町豊津(中止)	18	兵庫県	香美町香住
5	新潟県	佐渡市羽茂(中止)	19	三重県	伊勢市御園
6	静岡県	掛川市	20	福島県	田村市滝根
7	北海道	鷹栖町	21	鳥取県	北栄町北条
8	福岡県	築上町築城	22	大分県	中津市耶馬溪
9	長野県	飯田市南信濃(中止)	23	広島県	北広島町大朝
10	栃木県	下野市国分寺	24	鹿児島県	天城町
11	香川県	三木町	25	埼玉県	久喜市栗橋
12	岩手県	陸前高田市	26	静岡県	川根本町本川根
13	長野県	下條村	27	福岡県	みやこ町豊津
14	静岡県	浜松市三ヶ日	28	滋賀県	高島市高島

2021年度上期開催について

オリンピック・パラリンピックが延期になりましたので、次年度も今事業を開催したいと考えています。次年度につきましては状況を勘案しながら、ご案内をさせていただきます。

お問い合わせ先：B&G財団 事業部
海洋センター・クラブ課
担当：亀谷・林・栗原
TEL:03-6402-5314
コンパス送付先：海洋センター・クラブ担当

指導員の必要性

海洋センター施設を活発に運営していくためには、海洋センターの活動を実践する「B&G指導員」が必要不可欠であり、ハードである「海洋センター施設」とソフトである「B&G指導員」の両輪が合わさることで、子供たちの健全育成や地域住民の健康づくりを提供し続けていくことができます。

定期的な「B&G指導員」の養成をお願いいたします。

研修目的

カヌー、SUP、ヨットなどの実技だけでなく、住民ニーズや施設の状況に合わせた地域コミュニティの新たな利活用、全国の優良海洋センターの指導員による最新事例の紹介、安全な施設管理など様々なプログラムを習得し、子供たちの健全育成や中高年の健康づくりを担い、今までにない新しい発想で地域づくりを担うリーダーを養成し、海洋センターを活性化することが本研修の目的です。

2020年度実施内容

2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、下記の内容に変更し、実施しています。

- 研修期間：9月5日～9月29日 25日間（実技研修）※実技研修後、学科や講義はオンラインで実施
- 研修場所：沖縄県本部町 マリンピアザオキナワ
- 参加人数：15人

「B&G指導員」の養成が必要不可欠な海洋センターに限定した少人数制と、ソーシャルディスタンス等の三密を避ける実技指導、外出制限や消毒徹底を図る 集団生活など、感染予防対策をとった 研修スタイルで実施。



■2021年度の指導者養成研修について

2021年度の指導者養成研修は、実施場所は沖縄県本部町（マリンピアザ沖縄）、実施時期を6月で予定しています。

定期的な「B&G指導員」の養成について

過去10年間「B&G指導員養成研修」に参加されていない自治体については、本研修への予算措置と参加者派遣をお願いいたします。

定期的な養成研修への参加を通じ指導員の世代交代を進め、自治体内や指定管理者内の有資格者を増やしてノウハウを継承していくことで、海洋センターの活動は更に活性化されていきます。過去10年間「B&G指導員養成研修」への参加実績がなく、新たな常勤指導員の養成が行われていない海洋センターには、自治体首長様へ、指導者養成研修への職員派遣を依頼する文書を発信いたします。

お問合せ先

B&G財団 事業部 事業課 担当：鈴木（昭）、坂倉

TEL:03-6402-5313

コンパス送付先：事業課

事業概要

海・川だけでなく、通学路や生活圏での不意の落水などで一年を通じて発生する「水難事故」を防ぐため、全国の自治体、海洋センター・クラブ、B&G指導者会との連携協力により、プールでの体験や座学形式でも学べる水難防止プログラム「B&G水辺の安全教室」の提供と普及を進めています。

昨年度には、全国のB&G施設、学校等において、過去最高となる約22万人に参加いただくなど、社会への貢献度の高い、価値ある事業として定着してまいりました。B&G関係者一丸となって「水辺の安全」の意識と技能を子供たちに伝えていきましょう!!



背浮き

目的

- ・水難事故防止を目的に、体験学習を通じて水辺での「自助」の技能および安全知識を子供たちへ伝える
- ・海や水辺での自然体験活動の推進に先立ち、基本技能として子供達に習得してもらう
- ・子供や若者の海離れ、自然離れが進む中で、親世代にも水辺の安全知識の啓発を行う

2019年度は過去最高約22万人が参加!!
コロナ禍で実技が難しい場合は、児童・家庭への安全啓発をお願いします。

実施内容

- ・時期: 通年
- ・場所: 海洋センターのプール、艇庫 全国の小中学校等
(出前教室や水泳授業での受け入れ、教員研修を受けた教員の指導による)
- ・対象: 全国の小中学生、および教員、保護者、B&G施設利用者、イベント参加者等
- ・内容: 「B&G水辺の安全教室プログラム」による実技、講話等



ライフジャケット浮遊体験

2021年度のお願(強化内容)

1. 教員研修の推進

2020年度から、小学5・6年生は、水泳での「背浮き」が必須になりました。

水難事故の防止を、更に学校でも推進するため、学校への安全教室の普及、先生方への体験機会の提供にご協力ください!



教員研修を実施いただくセンターに、教員向け指導マニュアルを提供します!!

2. 安全啓発記事の広報紙・インターネット掲載(7月・8月)

水の事故が増加する夏休み時期に先立ち、地域住民の皆さまへの安全知識の提供のため、「広報紙」や「市町村ホームページ」への記事掲載をご手配ください!!



お問合せ先
B&G財団 事業部 事業課 担当: 進藤・持田・稲
TEL: 03-6402-5313
コンパス送付先: 事業課

B & G財団事業課から、サンプル記事を提供いたします!!

事業概要

バリアがあることによって海洋センター施設を利用しづらかった人の利用につながる改修工事や備品の配備を実施する。また、それらを活かした障害者等の利用促進の取組み（インクルーシブな取組みや広報活動を含む）を実施する。

～海洋センターのバリアフリー化に向けた器材配備～



ちょっとした工夫と備品で見違える！

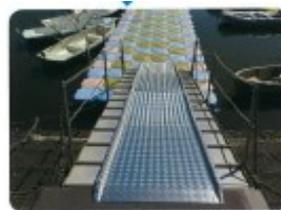
目的

2016年4月の「障害者差別解消法」や東京2020大会によって、「障害のある人もない人も共に暮らせる社会を目指す」機運が醸成されている。それにあわせて、海洋センター施設をより誰もが使いやすく、パラスポーツを楽しめる公益性の高い施設にすることにより、海洋センターの活性化を推進する。



実施内容

- ・実施箇所数：5か所程度
- ・対象となる支援
- ・海洋センター施設のバリアフリー化に係る備品等購入や軽微な改修
 - 例) 備品の購入：アクセスマット、折り畳みシート、プールリフト、移動昇降用リフト、移動式ベンチ、車いす（水陸両用）等
 - 軽微な改修：手すりの設置、段差解消、スロープの設置、開き戸から引き戸への変更 等
- ・パラスポーツ器材購入
 - 例) ボッチャ器材、軽スポーツ器材 等
- ・応募条件：海洋センター評価「A」以上



渡り板子の設置 約500,000円



ベンチ 約44,000円



スロープ 約8,000円
シャワーチェア 約10,000円



スロープ 約76,000円
車椅子 (1台) 約75,000円



スロープ (1台) 約82,000円



ボッチャ (1セット) 約27,000円



スポーツ投げ矢 (1セット) 約25,000円

2020年度実施海洋センター(5カ所)

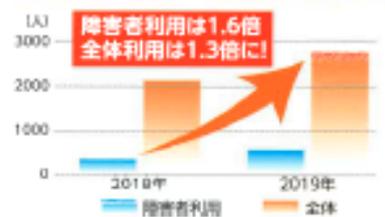
- 岩手県奥州市前沢 (体育館)
- 三重県伊賀市大山田 (プール)
- 山口県周防大島町 (艇庫)
- 香川県高松市国分寺 (体育館)
- 高知県四万十町窪川 (体育館)

2019年度支援センター

2019年度 実績

- 北海道滝川市 (艇庫)
- 静岡県浜松市三ヶ日 (プール)
- 熊本県玉名市岱明 (体育館)

滝川市(艇庫)9～10月利用者人数



お問合せ先

B&G財団 事業部 事業課 担当：宮崎・稲
TEL：03-6402-5313
コンパス送付先：事業課

B&G 2021年度地域海洋センター修繕助成

事業概要

「地域海洋センター修繕助成」は、B&G海洋センターの改修工事に対して、修繕助成金を交付する事業です。

B&G海洋センターの機能保全、向上を図る「通常修繕」をはじめ、自然災害の被害に対する「災害復旧修繕」、移設や用途変更に対する「特別施設整備」に対して、助成を行っています。

なお、今年度の募集は締め切らせていただきましたが、コロナ禍で自治体予算が逼迫する状況を鑑み、当分の間、社会情勢等による加算（コロナ禍）として10%助成率を加算することといたしました。

目的

- ・施設の安全性・利便性の向上
- ・健康増進・コミュニティ形成など、地域のニーズに対応した海洋センターの改修
- ・充実した海洋センターの利活用



内容

・修繕の種類：

(1) 通常修繕

財団が整備した施設や設備で、海洋センターの機能保全・復旧や機能向上を図るための修繕

(2) 災害復旧修繕

財団が整備した施設や設備が、自然災害により被害を受けた場合の原状復帰の修繕

(3) 特別施設整備

海洋センター各施設の移設や、有効活用を目的とした施設の用途変更等の改修

・申請要件：

通常修繕については、申請年度公表（前年度分）の海洋センター評価が「A」以上、特別施設整備については、「D」以上であること等

詳細はB&Gコンパスに掲載しております「修繕助成申請の手引き」をご参照ください

・昨年度からの変更点

(1) 助成率拡大

修繕の種類	助成率上限
通常修繕	特A：70%以内⇒80%以内、A：60%以内⇒70%以内
災害復旧修繕	保険対象除き70%以内
特別施設整備	50%⇒60%以内
艇庫特別措置	50%⇒60%以内
10年連続特A評価優遇措置	50%⇒90%以内

(2) 照明LED化工事の推奨を継続

昨年度、照明LED化工事の優遇措置（助成率5%加算）を実施し、同措置を継続

B&G財団が整備した9カ所のグラウンド照明LED化も対象とする。

※2022年度修繕につきましては、
2021年7月初旬頃に申請の手引きを
ご案内予定です。

お問合せ先

B&G財団 事業部 海洋センター・クラブ課 担当：鈴木・栗原

TEL：03-6402-5314

コンパス送付先：海洋センター・クラブ担当



追加・再配備制度のご案内

事業概要

「活動器材 追加・再配備制度」は、海洋センター・クラブの活動の充実と更なる活性化を目的に、ライフジャケット・救助艇などの安全器材や、SUP・アクアボールなど海レク器材の購入費用を助成するものです。

全国指導者会が目標に掲げる「全海洋センターでの自然体験活動の実践」の達成を目指し、2019年度より、艇庫のない海洋センターからも申請が可能となりました。

プールでのSUP体験など、従来からの活動形態にとらわれない、多様で新たな取組みを支援します！

目的

- ・海洋センター・クラブ活動の充実と更なる活性化
- ・マリンスポーツ活動人数の拡大
- ・インクルーシブな活動の活性化
- ・海洋センタープールの新たな活用



実施内容

・募集時期：2021年3月を予定

・申請種別：

(1) 追加配備

新たな海洋性レクリエーション事業の実施や利用者人数増加を目指した器材の追加

(2) 再配備

老朽化した器材の更新



・申請要件（一部抜粋）：

(A) 艇庫のある海洋センター、センター付き海洋クラブ

- ・2019年度海洋センター・クラブ評価が「B」以上 ※「C」評価の場合は、再配備申請のみ可能
- ・海洋センターは指導員の配置基準を満たしていること

(B) 艇庫のない海洋センター

- ・2019年度海洋センター評価が「A」以上 ※「B」・「C」評価の場合は、再配備申請のみ可能
- ・指導員の配置基準を満たしていること

※B&Gコンパスに掲載の「2020年度活動器材追加再配備の手引き」を参考にしてください。

・助成率（2020年度参考）：

	申請器材	指定安全器材	障害者対応器材	海レク器材等
評価	特A	70%以内	80%以内	50%以内
	A	65%以内		45%以内
	B	60%以内		40%以内
	C	※再配備申請のみ可（助成率はB評価同様）		
	D～E	対象外		
助成金額		上限50万円		

次年度は助成率の拡大を協議しています！

お問合せ先：B&G財団 事業部 海洋センター・クラブ課
担当：林・亀谷・相田 TEL：03-6402-5314 コンパス送付先：海洋センター・クラブ担当

事業概要

B&G海洋クラブとは、マリンスポーツ活動や海や川、湖での環境学習、環境保全活動などの、水辺の自然体験活動を通して、地域の子どもたちの健全育成、地域貢献活動を行う組織です。
登録に際し、B&G財団から活動への支援として、**活動器材(上限200万円)を配備**。3年間の活動実績により器材を無償で譲渡します。

目的

子供たち等への「海洋性レクリエーション」を中心とする自然体験活動の底辺を拡大し、多くの世代・対象者に向けて、水辺に親しみ、興味・関心を深める体験機会を促進する。

実施内容(予定)

海洋センター以外の自治体や海洋センター自治体内で活動しているNPO法人なども対象です。

■対象団体:

- ・B&G海洋クラブを有していない全ての海洋センターまたは、海洋センター所在自治体
※艇庫がある場合、原則器材配備はありません。
- ・マリンスポーツ等を希望しているNPO法人・民間団体・任意団体等

■登録要件:以下の項目を満たしていることが条件です。

水辺を中心とする
自然体験活動を推進

海や川、湖など定期的に
活動できる自然フィールド

活動器材を
安全に保管

「B&G海洋クラブ」の
名称での周知・活動

クラブ運営・指導・事務連絡が
可能なスタッフ5人以上

海洋クラブ活動が
年間300人10日以上



申請等について

■申請期間:2021年4月~5月(予定)

■申請方法:所定の様式に必要事項を記載のうえ、申請してください。

詳しくは年度末にお送りします「海洋クラブ募集要項」をご確認ください。

※参考として2020年度の募集要項はコンパスもしくは財団ホームページからご覧いただけます。

■審査について:書類選考および、現地調査、ヒアリングなどを行い総合的に判断します。

海洋センターや指導者会、地域総合型スポーツクラブなどからの申請もお待ちしています!



お問合せ先

B&G財団 事業部 海洋センター・クラブ課 担当:小野田・林
TEL:03-6402-5314

コンパス送付先:海洋センター・クラブ担当



海洋ゴミ削減に向けた全国一斉清掃活動 「海ゴミ0フェスティバル」の実施

事業概要

海洋ゴミが世界的な問題となっているなか、水辺活動を推進しているB&G海洋センター・クラブでも水辺の清掃活動を実施することで、海洋ゴミの削減に寄与していく事業です。また併せて、次世代を担う青少年への環境教育の一環としても推進していきます。

2019年度、環境省と日本財団が共同で立ち上げた海洋ゴミ対策プロジェクト「海ごみゼロウィーク」にも賛同し、特にこの「海ごみゼロウィーク」(予定:5月30~6月8日)での実施をお願いします。

目的

全国の海洋センター・海洋クラブにおいて、水辺等でのクリーン活動を実施することで、海洋性レクリエーションと密接に関わる水辺の環境保全、特に海洋ゴミに関する知識・意識の向上を図る。

実施内容

- 内容: ①海洋センター・クラブ市町村内の水辺・街中等の清掃活動
②海洋ゴミ問題に関する啓蒙活動
③クリーンフェスティバル(清掃活動に併せマリンスポーツ体験の実施)
- 期間: 海ごみゼロウィーク : 2021年5月30日~6月8日
通年開催: 2021年4月1日~2022年3月31日
※全国的な強化期間である「海ごみゼロウィーク」での実施をお願いします
- 対象: 地域住民等、誰でも参加可
- 場所: ①海洋センター・クラブ自治体内の海や川・湖などの水辺、およびその周辺等。
②街中など(海ゴミの大半は街中から流れ着くゴミと言われているため、海辺に接していない自治体の町中での実施も対象となります)
- 支援内容: ごみ袋、軍手、手ぬぐい、トング、ゴミ問題啓発リーフレット、のぼり
※ごみ袋、リーフレット以外は海ごみゼロウィーク期間での実施が対象になります。
※子供たちへの教育活動として「myエコバッグ作り」も実施
- 表彰: クリーン活動を実施いただいた海洋センター・クラブのうち、ユニークな活動等を行った自治体を表彰します!!

申請等について

財団から、実施ポスター・啓発ポスターを送付します。
ポスターは、海洋センターのみならず公民館等にも掲示いただき、参加者募集や海ゴミ削減に向けた啓発等にご活用ください。

実施自治体には、実施期間に応じて軍手・トング等を配布しますので、申請を行ってください。
詳細は、年度初めに実施募集要項をお送りします。

お問合せ先

B&G財団 事業部 海洋センター・クラブ課
担当: 相田、亀谷、小野田
TEL: 03-6402-5314
コンパス送付先: 海洋センター・クラブ担当



事業概要

夏休みなどの長期休暇期間中に、子ども達が海洋センターに通い、宿題などの「学習」と海洋性レクリエーションなどの「体験活動」の場を提供する子どもの居場所づくり事業です。

地域人材の活用と、共働き・ひとり親世帯などの子育て支援を目的としています。

関係者のメリット

【センター・自治体にとって】

海洋センター活用の変化によって、事業の幅が広がり新たな利用者獲得、地域活性化につながる。

【地域の子供達にとって】

生活習慣の向上、充実した長期休暇を過ごすことができる。

【保護者にとって】

共働き世帯・ひとり親家庭の負担軽減。安心して子供を預けることができる。

実施内容

- ・時期：2021年度夏休み・冬休み ※春休み（検討中）
 - ・実施数：100カ所（新規募集あり）
 - ・場所：海洋センター等 ※一般海洋クラブも申請対象
 - ・対象：小学1～6年生
 - ・内容：宿題などの「学習」と海レクなどの「体験活動」が両立した教室の実施
 - ・支援金：上限65,000円（消耗品やサポーター謝金等） ※3年間継続支援！
- 【備考】

- ①次年度、新規募集（先着38カ所）を行います。
- ②実施センターには、サポーター募集用の事業説明資料（チラシ）を配布！
- ③今年度「新型コロナウイルス感染症」拡大により、実施を見合わせた継続センターについて、次年度は実施（継続申請）をお願いします。



★セールスポイント★

①近所のおじいちゃんが先生!? 多様なプログラムと地域人材

体験活動の内容は海レクにとどまらず、各センターによってバラエティに富み、各種工夫が凝らされています。行政の各担当部署、教員、婦人会、スポーツクラブ、地元企業など多様な分野の地域人材がサポートしています。

②ニーズの高い事業

既に実施しているセンターからは、『参加希望者が多く、募集開始数時間で定員オーバー』や、『来年度も参加したい（子供）、親としては大変嬉しい企画（保護者）』と好評です。

③既存事業との連携も可能

0から事業立てをするのは難しいですが、自治体の他事業や放課後児童クラブ、海洋クラブの活動と組み合わせて実施しているセンターもあります。

対象経費・実施に係る不明点など、お気軽にお問い合わせください

お問合せ先
B&G財団 企画部 企画課
担当：藤田・大久保
TEL:03-6402-5311
コンパス送付先：企画課

事業概要

家庭的・身体的な理由により、子供の成長に欠かせない自然体験に参加することが困難な子供たちの体験格差の解消のため、海洋センターや海洋クラブで、水辺に親しむきっかけとなる楽しい活動を提供し、さらに自然体験活動を推進していきましょう!!

期待すること

- ・今まで自然体験活動が困難だった子供たちに、多彩な体験活動を提供すること。
- ・楽しい活動で子供たちの水辺への興味関心を引き出すこと。
- ・施設スタッフ等に、活動を通じて子供たちの変化や成長を実感させ、水辺の活動への理解を深めてもらうこと。



支援内容

	日本財団助成
経費の補助	水辺のレクリエーション器材の購入費 上限 150,000円
募集数	海洋センターまたは海洋クラブ 30カ所
対象期間	2021年度 通年
参加者(子ども)	障害児・児童養護施設等の子ども30名
備考	※子どもの抱える課題や泳力などによっては、プールでの実施も可。 ※複数回実施による、のべ30名も可。 ※健常児と一緒にの活動も可。 ※参加者は生活困窮世帯等、体験活動が困難な子どもも含まれます。 ※利用料や謝金等は、規則や条例などのコピーを提出してください。

その他

- ・新型コロナウイルス感染症の影響などにより、実施時期や詳細が未定の場合でも、分かる範囲で記入して締め切りまでにご申請ください。
- ・後払い精算の為、一次立替が必要となります。
- ・支払先に個人口座は認められません。海洋センターやクラブ、指導者会、自治体の口座をご指定下さい。

お問合せ先
 B&G財団 企画部 企画課 担当:根本・桐ヶ谷
 TEL:03-6402-5311
 コンパス送付先:企画課

B&G 「自治体職員派遣研修制度」

事業概要

海洋センター所在市町村の自治体職員を財団に派遣いただき、財団事業や研修等に参加いただく制度です。
(2003年より開始し、これまでに54人が参加)

目的

B&G財団における各種業務のほか、全国で実施する事業の実施運営、新規事業の企画など、地方行政とは異なる職務に携わることにより、視野を広げ、資質の向上を図っていただきます。

また、自治体と財団との密接なパートナーシップを築くとともに、全国の「海洋センター」を訪問し、事業視察や情報交換を行うことで、海洋センター間のネットワークを強化し、地元海洋センターの更なる活性化を図ることを目的として実施いたします。

内容等

- ◆研修期間：1年間（4月～3月）
- ◆勤務場所：財団事務所（東京都港区虎ノ門）
- ◆財団負担費用：都内マンション代、研修に係る経費等（総額約300万円）
- ◆自治体負担費用：着任時（4月）・帰任時（3月）の旅費、給与（賞与）
- ◆研修内容：センター・インストラクター養成研修参加
2級小型船舶操縦免許取得
砂ASObeach・安全教室等での現場指導
各種研修参加、財団事業の企画運営 他



お問い合わせ先
B&G財団 総務部 総務課
TEL:03-6402-5310
コンパス送付先:総務課

海洋センター施設別利用者数・利用者人口比率 ベスト5 (2019年4月～2020年3月)

総利用者数：10,049,177 人

(2020/6/1現在)

※ 施設総数は休館（利用人数0人）を除く

(単位：人)

艇庫（利用者数）					艇庫（人口比率）					
順位	センター名	道府県名	利用者数	昨年度順位	順位	センター名	道府県名	人口比率	人口	昨年度順位
1	本部町	沖縄県	60,013	1	1	本部町	沖縄県	4.465	13,441	1
2	滝川市	北海道	16,174	2	2	天城町	鹿児島県	1.824	6,182	2
3	天城町	鹿児島県	11,276	5	3	与論町	鹿児島県	0.919	5,339	4
4	花巻市東和	岩手県	9,588	3	4	小平町	北海道	0.915	3,254	8
5	室蘭市	北海道	9,009	6	5	美郷町邑智	島根県	0.865	4,955	6
全センター合計		153カ所	297,312		全センター合計		153カ所	297,312		
平均			1,943		平均			1,943		
温水・加温プール（利用者数）					温水・加温プール（人口比率）					
順位	センター名	道府県名	利用者数	昨年度順位	順位	センター名	道府県名	人口比率	人口	昨年度順位
1	坂井市丸岡	福井県	121,718	1	1	芳賀町	栃木県	6.445	15,899	1
2	芦屋市	兵庫県	112,609	2	2	明和町	群馬県	5.708	11,463	2
3	芳賀町	栃木県	96,207	3	3	海陽町海南	徳島県	3.528	9,851	3
4	白山市鶴来	石川県	82,674	6	4	矢掛町	岡山県	2.995	14,637	4
5	猪名川町	兵庫県	80,292	5	5	与論町	鹿児島県	2.967	5,339	5
全センター合計		110カ所	2,875,986		全センター合計		110カ所	2,875,986		
平均			26,145		平均			26,145		
上屋付・屋外プール（利用者数）					上屋付・屋外プール（人口比率）					
順位	センター名	道府県名	利用者数	昨年度順位	順位	センター名	道府県名	人口比率	人口	昨年度順位
1	磐田市竜洋	静岡県	21,189	1	1	湯前町	熊本県	2.276	4,084	1
2	堺市美原	大阪府	14,593	2	2	曾爾村	奈良県	1.954	1,545	2
3	徳島市	徳島県	13,460	3	3	伊江村	沖縄県	1.437	4,620	3
4	久留米市三潞	福岡県	12,750	4	4	生坂村	長野県	1.275	1,873	4
5	浅口市鴨方	岡山県	11,098	5	5	大湯村	秋田県	1.248	3,207	5
全センター合計		278カ所	996,296		全センター合計		278カ所	996,296		
平均			3,584		平均			3,584		
体育館					体育館					
順位	センター名	道府県名	利用者数	昨年度順位	順位	センター名	道府県名	人口比率	人口	昨年度順位
1	久喜市栗橋	埼玉県	128,013	2	1	上郡町	兵庫県	6.597	15,586	1
2	上郡町	兵庫県	102,824	1	2	長島町	鹿児島県	6.280	10,793	圏外
3	徳島市	徳島県	92,133	3	3	新篠津村	北海道	5.977	3,220	4
4	高松市国分寺	香川県	73,579	5	4	浦臼町	北海道	5.640	1,958	3
5	可児市	岐阜県	68,110	4	5	小平町	北海道	5.470	3,254	5
全センター合計		311カ所	5,253,328		全センター合計		311カ所	5,253,328		
平均			16,892		平均			16,892		

